

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0370/502505/05/01	事業の種類	4	
年度	19	事務事業名	芸術文化振興事業	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	文化振興事業		担当部課名	生涯学習課		
政策名	愛着と生きがいを育むまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	市民文化活動					
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民				
	誰(何)を対象として	芸術文化活動				
	意図(どのような状態にしたいのか)	美術展等の芸術文化にふれる機会を提供し市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われることにより、こころ豊かな生活が送れる				

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化祭・美術展などの生涯学習活動の実施				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	文化祭	事業	12	12	13	13
	美術展	回数	1	1	1	1
	ミュージックセミナー	回数	1	1	1	0

3 投入資源

投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.162	0.162	100.0	0.162	100.0	0.162	100.0	
	臨時職員	0.012	0.012	100.0	0.012	100.0	0.012	100.0	
支出内訳	人件費	2,425,458	2,136,788	88.1	2,179,648	102.0	2,124,782	97.5	
	事業費	4,025,326	3,998,318	99.3	3,953,701	98.9	2,737,000	69.2	
	合計	6,450,784	6,135,106	95.1	6,133,349	100.0	4,861,782	79.3	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,450,784	6,135,106	95.1	6,133,349	100.0	4,861,782	79.3	
合計	6,450,784	6,135,106	95.1	6,133,349	100.0	4,861,782	79.3		

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化祭参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
実績	目標			-		-		-	
	実績	3,447	3,696	107.2	3,786	102.4			
指標名2		美術展出品数							
指標説明(式)		出品点数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
点数	目標			-		-		-	
	実績	247	272	110.1	270	99.3			

【効率性】

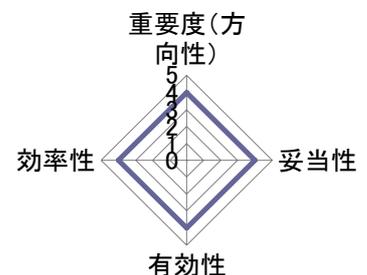
指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(委託料+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	1,871	1,659	88.7	1,620	97.6		-	
指標名2		出品一点あたりコスト							
指標説明(式)		(委託料+人件費)÷出品数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	26,116	22,555	86.4	22,716	100.7		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	市民ニーズ	美術展等の芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が行われることにより、こころ豊かな生活が送れる。	4	4
	市の関与の妥当性	市民の芸術文化の向上という成果が期待されるため、実施する妥当性がある。		
有効性	市民サービス	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。	4	4
効率性	手段の最適性	前年比97.6%となった。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業内容を精査し、委託料の削減を図る。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	芸術文化にふれる機会を提供し、市民の文化活動を支援しなくてはならないため事業は継続するが、費用対効果について検討し、更なる経費節減等の検討を行っていく必要がある。20年度に文化祭・美術展の委託料を約2割削減する。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

より多くの市民の参加を促すよう芸術文化活動のPRに努め、引き続き芸術・文化団体の育成及び支援を行う。
--

検討の有無	-
総合指標	22